

ひめまつ

63



宇都宮短期大学附属高等学校生徒会

ひめまつ 目次 (第六十三号)

表紙……老沼めばえ 題字……石川木魚 写真……写真部・編集委員会
 校歌 生活目標 裏表紙……斎藤恵美

グラフ 「学園の四季」

随想

新しい学習指導要領 ……校長 須賀 淳

—歴史教育は変わるか—

論説

「手作り・適時適切・共生」 ……副校長 須賀 英之

—常磐ハワイアンセンターから、不況脱出のヒントを学ぶ—

特集1

宮崎先生との出会いが、オリンピックへの第一歩でした！ ～夢の実現に向けて～ ……10

特集2

卒業生インタビュー Part.1 ……大志に生きる！ かけがえない宝もの ……沼尾みゆき ……11

特集3

卒業生インタビュー Part.2 ……望月 賢・柏崎竜弥 ……15

特集4

卒業生インタビュー Part.3 ……飯島和之・石井匠太郎・山口順也 ……17

生徒会活動のさらなる発展を目指して（新生徒会長に就任して） ……早乙女 敏 ……19
 多くの学校行事を通して（任期を終えて思うこと） ……小貫 涼香 ……20

*心に強く響くもの（校内読書感想文コンクール入賞者一覧・上位入賞作品） ……21

【第三学年の部】 校長賞

第一位 須賀 淳・著「ひかり輝く全人教育」を読んで ……二十二組 月井美音
 第二位 マイケル・モーパゴ・著「兵士ピースフル」を読んで ……一組 鈴木ちさと
 第三位 TBSイブニング・ファイブ・著「余命一ヶ月の花嫁」を読んで ……十一組 田代幸世

【第二学年の部】 校長賞

第一位 陳舜臣・著「琉球の風」を読んで ……一組 和田悠介
 第二位 太宰 治・著「人間失格」を読んで ……四組 松本伊織
 第三位 秋草鶴次・著「十七歳の硫黄島」を読んで ……八組 永山広樹

【第一学年の部】 校長賞

第一位 遠藤周作・著「海と毒薬」を読んで ……一組 大円詩織
 第二位 甲地美恵・著「虹を見上げて」を読んで ……七組 小野綾香
 第三位 宮本雅史・著「電池が切れるまで」の仲間たち 子ども病院物語」を読んで ……四組 植木花乃

■平成二十年度 作文関係コンクール等入賞者一覧 ……35

□作品集「各種コンクール入賞作品」 ……36

【税の作文】

宇都宮税務署長賞 「税金について思うこと」 ……二年 五組 藤田 梓
 【現代詩】 高校二年六組（普通科国公立特進コース） ……友光 愛
 【短歌撰】 高校一年三組（普通科国公立特進コース）
 高校二年八組（普通科進学コースへ文系専攻）

★あとらんだむ ……40

一年間の反省と、二年生になる抱負

旧一年 三組 吉成泰隆
 旧二年 十組 南 勇輔

二年間の反省と、最上級生になる抱負

オーストラリア海外研修旅行記

随想 滝を登る鯉

敬老の日の贈り物に、お礼のお手紙をいただきました。

ホット・レターのページ

旧一年九組	安野雄樹
旧一年十組	高城菜林
旧一年十一組	今村祥太
旧一年十二組	飯塚由里子
旧二年一組	前田善紀
旧二年二組	杉山捺加
旧二年三組	古内友理
旧二年四組	小林愛加
旧二年五組	月井美音
旧二年六組	柴田実咲
旧二年七組	星野彰太郎

♪沖縄・東京臨海副都心・那須の旅

「沖縄への修学旅行を終えて」

「沖縄への修学旅行を終えて」―出会えば皆兄弟―

「沖縄への修学旅行を終えて」―私の見た沖縄―

「お台場」―日旅行の思い出―エイリアン

「日旅行」―憧れのお台場ツアーにて―

―日旅行での思い出―那須りんどう湖ファミリー牧場

二年四組	片岡慎太郎
二年四組	黒崎聡史
二年四組	向井英里紗
二年三組	相馬博子
二年二組	和久井智世
一年四組	松宮登巳子

〈声〉 須賀学園2009「宇短附」の魅力スポットは？

「宇短附と歩んできたこの六年間」

三年一組	石田智久
------	------

◇わがホームルームの紹介

三年・二年・一年

◆委員会・部活動(文化部/運動部)報告

交通安全・美化・風紀

華道・茶道・写真・インターアクト・服飾手芸・囲碁・将棋/女子サッカー・卓球・男子サッカー・弓道・男子バスケット

女子バスケット・水泳・新体操・柔道・女子バレー・男子バレー・男子ソフトテニス・女子ソフトテニス・剣道

★学園告知板

フェスタ2008「須賀学園創立108周年記念学校祭」を開催!

宇都宮共和大学の宇都宮シテイキャンパスで、教育ルネッサンス「英語と文化の公開講座」を開講!

「教科書にのっていない世界の授業2008」

「英語教育公開講座」

「今、新たなチャレンジの時」第42回宇短大祭が華やかに!

県環境森林政策課・主催「とちぎ」発ストッパ温暖化アクション」で最優秀賞に!

*男子ソフトテニス部の活躍

関東大会のソフトテニス男子・個人で、石川涼太・渋谷 冠組が初優勝!

インターハイ、全国大会へ! ソフトテニス男子団体が優勝・個人は第3位!

「チャレンジ! おおいた国体」の県代表選手に ソフトテニス少年男子

*国際交流

ニュージーランドのサンタ・マリア・カレッジから、学生訪問団が授業体験に来校!

アメリカ・カリフォルニア州からの高校生が、一ヶ月間の高校体験学習!

中国浙江省から、高校生交流代表団が来校!

台湾国立屏東女子高校から、交流団が来校!

ニュージーランド・マヌカウ市からの派遣高校生が来校!

学園の四季



▲宇都宮共和大学宇都宮シティキャンパス教育厚生棟
平成21年3月完成予定(北側学生広場からの全景)



▲TVでお馴染み
青島広志先生の
爆笑トーク!

▲第42回宇短大祭:須賀友正記念ホール
で行われた「青島広志おしゃべりコン
サート〜舞台音楽408年史〜」から。

1月8日(木)須賀房江先生の
「源氏物語」講演会!



▲昨年7月18日(金)に栃木県庁舎1F
県民ロビーにオープンした「第1回
けんちょう de 愛ふれあい直売所」で
—おいしくてヘルシーな「宇短附
とちぎ元気ブレッド」をどうぞ!



▲昨年11月1日(土)・2日(日)開催の
宇都宮共和大学:すみれ祭2008
のファッションショーを終えて—
須賀 淳校長先生と生活教養科の
先生・生徒の皆さん

▼昨年10月23日(木)に本校体育科
教諭の宮崎未樹子先生と、北京オリ
ンピックのレスリングメダリストの
伊調姉妹が、宇都宮市内で懇談会!



▲手塚康雄先生
(商業科)が、
「NHK俳句大賞」
全国No.1に!



◎平成二十年度生徒会報告

- ◇主な大学合格者数一覧(過去三年間)・就職状況
- ◇編集後記
- ◇校史と校章

編集委員長 佐藤 愛里

196 194 190

宇都宮共和大学・宇都宮短期大学(人間福祉学科)コーナー

この一年間のおもな活躍・クラス紹介・行事紹介
作品集「各種コンクール入賞作品」 写真で見る中学校生活

附属中コーナー

- 数学科 茨城大学 上田 香菜
- 地歴科 成蹊大学 和久 桜子
- 教育実習を終えて
- 教育実習を終えて

155

■教育実習生、母校の教壇に

＊調理科の活躍
本校調理科が、「けんちょう de 愛ふれあい直売所」を栃木県庁内にOPEN!
第21回きのこ料理コンクールで最優秀賞、全国大会へ!
＊生活教養科の活躍
「創作料理発表会」で、生活教養科3年生が最優秀賞を受賞、全国大会に!
とちぎテレビ「うたの王様」司会アシスタントの衣裳を、生活教養科でデザイン・制作!
全国きものデザインコンクールで、生活教養科3年生が2年連続全国第2位・京都府知事賞に!

152



さわやかな秋空のもと 秋季大運動会!

▼開会式: プラスバンド部による開式通告ファンファーレのあと、生徒会本部役員の校旗入場に続いて、中高全生徒がクラスごと趣向を凝らしての入場行進!



▶「ハンドボール投げ」決勝

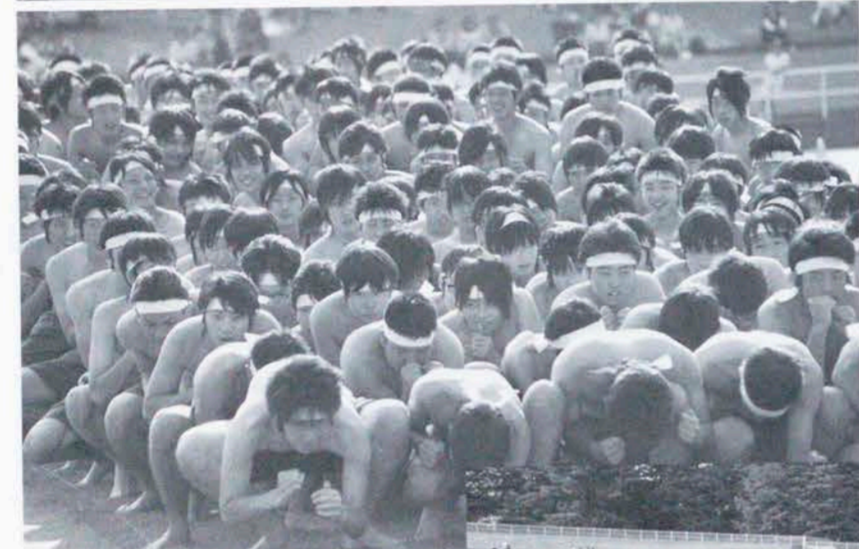
▶「走れ、ハリケーン」(高一女全・棒運びリレー)



さわやかな秋空のもと、優勝目指して!

〜県総合運動公園で、中高合同の大運動会を開催!〜

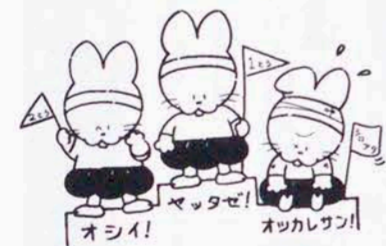
快晴に恵まれた10月18日(土)午前9:00から、宇都宮市西川田町の栃木県総合運動公園陸上競技場を会場に、中高合同での総合体育大会が実施されました。3年に一度の大運動会でもあるこの日は、朝早くから2,700名を超えるアスリートたちが集結! 普通科特進、進学、応用文理、生活教養、情報商業、



▲「100m走」男子決勝

「百発百中」(職員・中・高全による玉入れ)

▲▶「エッサッサ」静から動へ(高1・2男全・集団演技)



▼「学園音頭」でフィナーレ!



調理、音楽の高校各科・コースと、中学は紅白の計9つのチームが、優勝カップを目指して日ごろの鍛錬の成果を競い合いました。



▶須賀淳校長先生を前にしてのパフォーマンスにも熱が入ります。

▶「跳んで・走って・ジャンピング〜」(高1男全・障害物競争)

特に、午前中に行われた総勢450名におよぶ高校2年の女子生徒全員による「A Whole New World ~私たちが目指すのはそこ~新しい世界」と、午後の高校1年の女子生徒460名全員による集団演技「『夢』を叶えて~微笑んで~」は、競技場いっぱいに広がった華麗な一大絵巻! そして運動会終盤の名物、高校1・2年男子生徒800名からなる勇壮なマッスルパフォーマンス「エッサッサ」には、客席から大きなどよめきと盛んな拍手が送られていました。【写真提供: 伊東写真館】



▶「科別対抗リレー」女子決勝のコオオール!



▶「今、ゴールに行きます!」(高3女全・3人4脚リレー)



▶「A Whole New World」(高2女全・集団演技)



随想

新しい学習指導要領

歴史教育は変わるか



校長 須賀

あつし 淳

昨年末の十二月二十三日の各新聞には、文部科学省から発表された高等学校学習指導要領の改定案が大きく報じられています。小学校と中学校の学習指導要領はすでに改定、告示されているので、十年ごとに改定される新しい学習指導要領が出揃ったこととなります。

学習指導要領といっても生徒の皆さんは読んだこともないと思いますが、学校で教える教育内容について文部科学省が定めたものですから、学校にとっては「法律」ともいえる大切なものなのです。学校ではこの学習指導要領にしたがって授業が行なわれ、また教科書もこれによって作られるのです。二年前に、学習指導要領で必修となっていた世界史を履修していない高校が全国で多数発見され、そのため三年生の卒業が認められないという事態が起こったことは記憶に新しいところです。本校ではきちんと世界史も履修していますが、未履修の高校では、卒業前の自宅研修期間中や卒業後の三月中に世界史の補講を行なうなど大変でした。

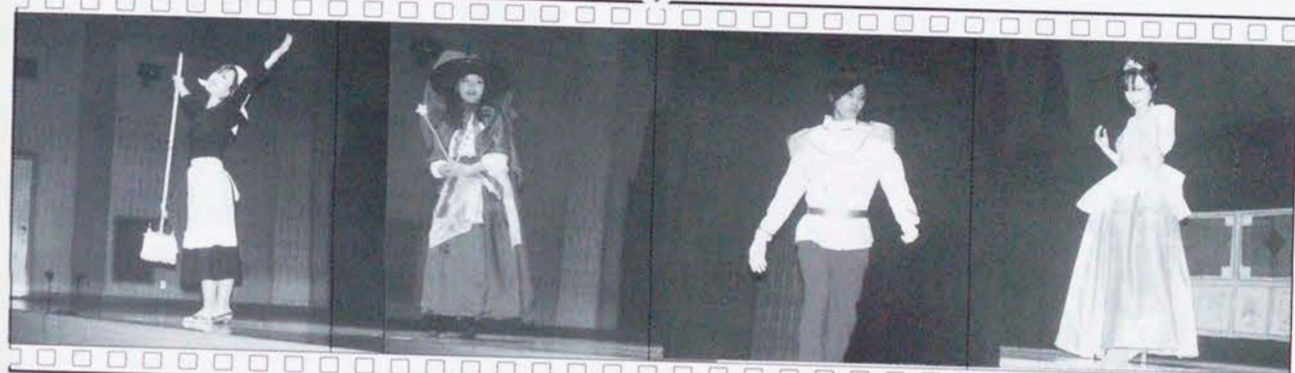


▲昨年11月1日(土)に開催された須賀学園創立108周年記念学校祭：フェスタ2008の第1会場、須賀学園教育会館の前庭特設ステージでHIP・HOP・DANCEを披露する宇短大ダンスサークルの皆さん！



▲昨年10月18日(土)に県総合運動公園陸上競技場で開催された中高合同での秋季大運動会にて—生徒会本部役員の生徒の皆さんによる校旗入場

生徒会
行事あれこれ



▲フェスタ2008の第2会場、須賀栄子記念講堂大ホールで上演された音楽科3年生によるオペレッタ「シンデレラ」から～

生徒会役員

 副会長 仲田 涼介	 副会長 笠原 沙織	 会長 早乙女 敏
 庶務 天野 実季	 庶務 金田 太一郎	 会計 北山 智子
 議長団 清水 奈津美	 議長団 荻田 めぐみ	 議長団 清水 美穂



議長団

このたびの小・中・高校の学習指導要領の改定が世間の大きな注目を集めているのは、教育の憲法ともいえる「教育基本法」が、敗戦後六十年にしてはじめて改正されたので、それにしたがって小・中・高校の教育も大きく変わることになったからです。教育基本法の改正では、戦後の日本の教育で欠けていた大切な内容が復活しました。それは「伝統や文化の尊重」、「国と郷土を愛する心」、「公共の精神」、「規範意識」などです。新しい学習指導要領によって、伝統・文化の尊重や愛国心が学校の歴史教育などでどのように充実されるかが国民の大きな関心事となつていくのです。しかし、高校の日本史の必修化は見送られて、世界史は従来どおり必修となつていきます。小学校では社会（六年）の1「目標」のなかで歴史や伝統を大切に、国を愛する心情を育てることについて触れていますが、2「内容」においては、近現代史の部分は従来どおりで、ほとんど変更はなく、次のように坦々とした記述の内容です。

平成二十年版 小学校六年社会（歴史）

キ 黒船の来航、明治維新、文明開化などについて調べ、廃藩置県や四民平等などの諸改革を行い、欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことが分かる

こと。
ク 大日本帝国憲法の発布、日清・日露の戦争、条約改正、科学の発展などについて調べ、我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことが分かること。
ケ 日華事変、我が国にかかわる第二次世界大戦、日本国憲法の制定、オリンピックの開催などについて調べ、戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かること。

私はかつて、文部省の初等中等教育局初等教育課長として、昭和四十三年の小学校学習指導要領の改定を担当したことがあります。当時は戦後二十年を経過していましたが、占領下に制定された教育基本法を改正することなどは思いもよらず、「愛国心」や「国防（国の安全）」はタブーでした。そのような社会情勢のなかで、せめて小学校の学習指導要領の改定によって、「国民育成の教育」の実現を図ることを考えました。社会（六年）の1「目標」において「わが国の歴史と伝統に対する理解と愛情や国民的心情の育成を図る」として、2「内容」の明治維新から現代までの部分は、次のようなくわしい記述になつていきます。

昭和四十三年版 小学校六年社会（歴史）

カ 新しい国是のもとに明治維新を行ない、きびしい国際環境のなかでその独立を確保し得たわが国は、古くからの伝統を受け継ぎながら積極的に欧米の制度や文化を取り入れて近代化の道を歩み、廃藩置県、学制頒布、近代産業の育成、憲法発布、国会の開設、日清・日露の戦争や条約改正などを経て国力が充実し、国際的地位が向上したこと、また、大正から昭和にかけては第一次世界大戦後の政党政治の発達、世界列強に伍しての国際社会における活躍などを経て、やがて第二次世界大戦に至ったこと、戦後は敗戦の苦難をのりこえて民主的な国家として今日に至つており、その間の産業経済の復興、国民生活の向上はめざましく、国際社会に果たす役割も大きくなつていくことを理解し、さらに国家の安全と繁栄については今後いつそその国民の努力が必要であることを考えること。

キ 千数百年にわたるわが国の歩みをみても、日本民族は常に積極的に外国の文化を取り入れ、これを同化しながら国の発展に努め、特色ある歴史を創造してきたことを理解し、次の時代の歴史をになう自分たちの立場や責任について考えを深めること。

これを平成二十年版の小学校学習指導要領の坦々とした記述と読み比べてみてください。日本の国民に自信と誇りを持たせるような内容の記述になつていないのかと思います。さらに、3「内容の取り扱い」において、「天皇の地位」について学習指導要領にはじめて取り上げ、「天皇については、歴史に関する学習との関連も図りながら、天皇についての理解と敬愛の念を深めるようにすることが必要である」としています。この記述は、その後の改定においてもすべてそのまま踏襲されています。しかし残念ながら、この学習指導要領によって作られたはずの小学校の歴史教科書は、従来のもものとほとんど変わりありませんでした。

宮内庁長官が昨年暮の記者会見で、「天皇陛下の御健康不調の原因は、将来にわたる皇統（万世一系の天皇の血すじ）の問題など皇室の諸問題に関する御心痛にある」との異例の発言をしています。さらに一部のマスコミは、戦後の教育を受けた人々の皇室に対する無関心が皇室の最大の危機であるとも報じています。

戦後日本の教育の反省のうえにたつて改正された新しい教育基本法の趣旨が、これからの学校教育において十分実現することを心から願っています。

論説

「手作り・適時適切・共生」
—常磐ハワイアンセンターから、不況脱出のヒントを学ぶ—

副校長 須賀英之



「フラガール」との出会い

今から約四十年前に東北の一地方で、会社倒産の危機に瀕した経営者・従業員・家族が一体となって、製造業からレジャー産業への転換に成功した企業が

あります。私は昨年、その常磐興産（常磐ハワイアンセンター、現在はスバリゾート・ハワイアンズと、施設名を改称）の斎藤一彦現社長とお会いして、創業者である中村 豊氏についての話を伺い、大いに感銘を受けました。

いま世界は百年に一度といわれる大不況に見舞われ、従業員の解雇や企業の倒産のニュースが絶えません。また、競争原理一辺倒の株主資本主義や輸出依存の経済構造の見直し、社会全体に迫られています。常磐ハワイアンセンターの創業物語には、現下の不況を乗り越えるヒントがあり、また、生徒

の皆さんが、人生で困難に直面した際にも大いに役立つものと思えたからです。

このサクセス・ストーリーは、「フラガール」として映画化され、日本アカデミー賞を受賞し、舞台上でもされましたので、ご覧になった方もいること

でしょう。映画では、東京から招いたフラダンスの先生（松雪泰子）と地元の女子高生（蒼井優）が中心になっていますが、実は当初、主人公は中村氏をモデルにして西田敏行が演ずることになっていたのです。

映画「フラガール」キャスト



人生には降りられない舞台がある。
まちのため、家族のため、友のため、
そして自分の人生のために
少女たちはフラダンスに挑む
(映画「フラガール」より)




中村 豊氏とフラダンス教師 早川和子氏（右）
左は常磐舞踊学院第一期生

(注) 写真は常磐興産ホームページより

それは日光の山荘から始まった

中村氏は東京大学経済学部を卒業して、昭和二年、福島県いわき市にある常磐炭礦に入社しました。以前は「黒いダイヤ」と呼ばれ繁栄を極めた石炭産業でしたが、昭和三十年代に入ると、エネルギーの主役は石油に取って代わられ、また地中から湧出する天然温泉に阻まれた採炭は、危険でコストも嵩み、次第に採算が合わなくなっていました。炭鉱に働く一万二千名の従業員とその家族約五万人の生活を守るため、それまで邪魔物でしかなかった温泉を逆に利用して何かレジャー施設ができないものかと、当時副社長であった中村氏は悩ましました。

しかし、二回にわたる欧米視察も成果がなく、失意を癒すため日本への帰路にハワイを訪れました。そこで、フラダンスの開放感と温かさ、村の鎮守のお祭りを思い起こさせる打楽器のリズムに出会い、「常磐の地熱と温泉を使って、ドームの中に椰子の木を植えて、日本にハワイを作ろう」と、瞬時に閃

いたそうです。早速、日光の山荘にこもり、大学ノート十冊に企画書を書き上げ、会社の取締役会では、荒唐無稽と思われた計画を説明した後に、「返事がないので、賛成とみなす。本案を実施しなければ、常磐に明日はない！」と言い放って退室したという逸話も残っています。

次の課題は、踊り子の確保でした。「肌も露わに人前で踊る」ことに当時の若い女性とその家族には抵抗感が大きかったからです。「東京で採用したら」との助言もありましたが、「炭鉱の精神が生きている芸能を目指す」という考えから、NHKテレビの「私の秘密」で知ったフラダンスの早川和子氏を懇願のうえ招聘し、新たに常磐舞踊学院を創設して、地元でその養成にあたることとしました。次第に、「私の娘を役立ててください」と、手を挙げてくれる社員も現れました。最初のダンサー十八名は中学を卒業したばかりの炭鉱の娘たちで、炭鉱を追われた家族を守るために必死に、稽古をしました。成功しなければもう後はないという思いと、「東北の

宝塚」を目指すという高い目標からです。猛特訓をして九カ月後の昭和四十一年（一九六六年）一月、ついに常磐ハワイアンセンターは開業の日を迎えました。

「一山一家」と中村の経営哲学

炭鉱には「一山一家（いちざんいっか）」という言葉があります。危険と紙一重の採炭には、従業員ばかりでなく家族全員が一丸となって力を合わせて団結します。その伝統を受け継ぎ、家族全員がハワイアンセンターで働いた家庭も多くありました。父は設備管理、母は食堂、兄はフロント、妹はフラダンスという役割です。営業に口の立つ者はいないかと探したところ、なんと労務部が一番手を焼いていた労働組合長が営業部長になったという逸話すらあります。椰子の木が寒さで枯れそうになると、会社から依頼したわけでもないのに家々からストーブが集まりました。家の寒さも考えずに、助け合って一途に新規事業の成功のため頑張り、「一山一家」の全

員が必死になって取り組んだのです。

このような中村の経営哲学には、「手作りの経営」があります。施設は自分たちで考え、自らの手で造ったのです。決して洗練されてはいませんが、炭坑で培った技術を持ち寄り、素人集団なりに一所懸命、必要なものはすべて手作りでした。フラダンスを必死に踊る炭鉱の娘たちを見て、営業部長も「あの娘達の努力に報いるためにも客を取ってこい。」と発破をかけました。手作りだからこそ、必死に改善策を考え、お互いに協力し合い、充実感や達成感を一緒に味わう、という結果につながっていたのです。

もう一つは「適時適切」をモットーに、いつも時代の声に耳を傾け、変革を求める姿勢を大切にしました。老舗といわれる会社ほど、厳しい変革に迫られ、それを乗り越えなくてはいけないからです。

また、自分の会社だけ良ければよいということではなく、「地域との共生」を旨としました。地域から受け入れられなければ観光業は成立しない、地方特

有の「街と企業の確執」を乗り越えて協力しなければいけない、という考え方でした。オープン初年度から予想を大幅に上回るお客様が集まり、ホテルは連日超満員でした。しかし、増築の計画は頑として受け付けず、地元旅館の増築が一巡した段階で、ようやく計画を縮小した増築を許可しました。食料品や土産品はすべて地元から調達し、アロハシャツも地元の工場に発注しました。地域の企業が協力し合うのは、実はたいへん難しい現実の中での奮闘だったそうです。

そして中村氏は、幹部社員には厳しかったですが、現場へのいたりや配慮を常々心掛け、いつも社員食堂で食事して声を掛け、最後まで現場の最前線に立って、皆を引っ張ったそうです。

「スパリゾート・ハワイアンズ」への展開

昭和四十五年、常磐興産は石炭部門（常磐炭礦）を合併し、炭坑労働者の退職金で膨れ上がった多額の債務を継承しました。常磐炭礦は、明治十六年に

採炭を始め、ハワイアンセンターが開業した十年後の昭和五十一年に九十三年間の歴史を閉じました。中村氏は昭和六十二年に八十五歳で逝去しましたが、その後も会社は、何度も襲った経営危機をみごと乗り越え、大型温泉施設を徐々に増設して、施設名も「スパリゾート・ハワイアンズ」と改め、「温泉テーマパーク」を全国に認知させることになりました。今年度の入場者数は、百六十万人以上と過去最高を更新する見込みです。地域に与える経済効果は年間四百十五億円、雇用創出効果は約一万人にもなります。

私が副部長として勤務した日本興業銀行本店営業第四部（現みずほコーポレート銀行）は長年、同社の事業展開を支援し、協力を続けてきました。

「変化への対応力」で輝かしい成功を

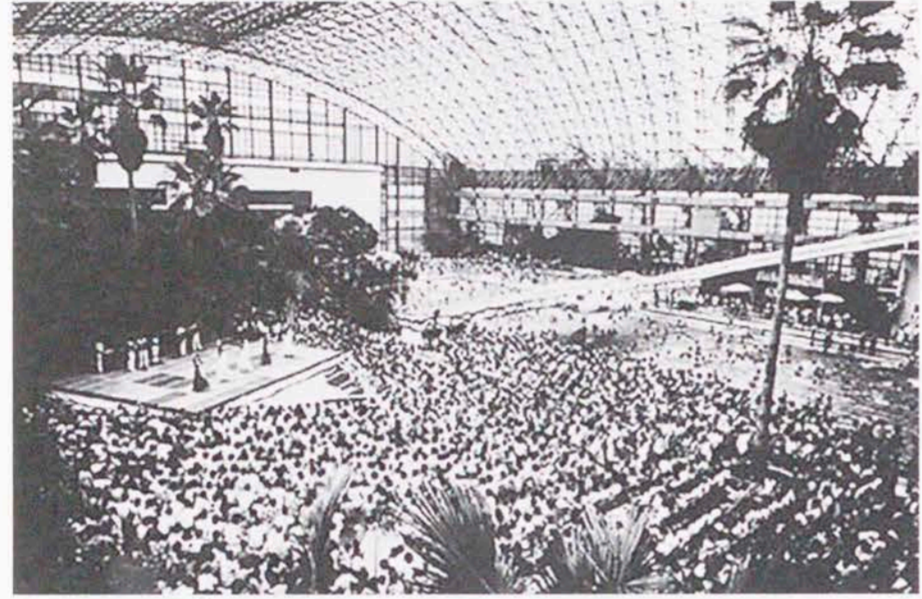
さて、こうした常磐炭礦の「一山一家」が一体となった努力の軌跡は、昨今、人減らしと株主利益を優先する大企業や、中小企業に貸し渋る金融機関に

は、どう映るのでしょうか。

企業や人も、真の実力とは、「挑戦する実行力」や「変化への対応力」だと思います。そのためには自

分で一生懸命考え、確固たる信念で必死になってやり遂げる意欲が大切です。

厳しい時代に、本校を巣立っていく生徒の皆さんに、中村豊氏の「手作り・適時適切・共生」の言葉を贈りたいと思います。そして、自らの知恵や才覚に加えて周囲の協力を得て、幾多の困難や挫折にめげずに立ち向い、輝やかな人生の成功者となっていただくことを心から願っています。



昭和41年(1966年)1月 常磐ハワイアンセンター開業

●副校長略歴

昭和五十二年東京大学を卒業、日本興業銀行（現みずほコーポレート銀行）に勤務。人事部副調査役、産業調査部主任部員、本店営業部・業務部副部長などを歴任し、平成十二年須賀学園に戻る。現在、須賀学園副理事長、宇都宮共和大学学長、宇都宮短期大学学長、同附属中学・高等学校副校長、栃木県私学審議会委員、栃木県産業教育審議会委員、栃木県文化振興審議会長、宇都宮商工会議所副会頭などをつとめる。

特集1

宮崎先生との出会いが、オリンピックへの第二歩でした！
夢の実現に向けて



昨年十月二十三日(木)、北京オリンピックのレスリングメダリストである伊調姉妹が宇都宮市を訪れ、本校体育科の宮崎末樹子先生(元レスリング61kg級世界大会優勝)と懇談されました。宮崎先生と同郷(青森県)の伊調姉妹は、小学校のころ、世界チャンピオンになった宮崎先生と出会い、「宮崎先生を目標にオリンピックで金メダルをとる」という夢の実現に向けてがんばった結果が今回の快挙につながった、ということです。(以下、懇談の抜粋をご紹介します。)

宮崎先生 北京オリンピックでの、金メダル・銀メダル受賞、おめでとうございます。今のお気持ちはいかがですか？

伊調千春さん ありがとうございます。

伊調千春さん 十月の体育の日に、代々木体育館でお会いして以来ですが、まだ、感動と興奮が冷めやらぬといったところ

伊調 馨さん アテネとあわせての二連覇なので、二人とも嬉しさ倍増です。

宮崎先生 一九九六年には、八戸市武道館でお会いしましたね。

伊調千春さん 当時私たちは、まだ中学生と小学生でしたが、世界チャンピオンにお会いできてとても緊張したことを憶えています。

伊調 馨さん 青森出身の憧れのスパースター宮崎先輩からは、励ましのお言葉をかけながら、やさしく握手をしていただけ感激しました。宮崎先生 お二人の高校時代の思い出は？



宮崎末樹子先生

宇短大附属中学・高校体育科教諭(日本体育大学卒)
柔道4段・本校柔道部顧問
1992年 全日本女子柔道体重別選手権大会全国第3位
1992年 ハルセロオリンピック柔道日本代表候補
1996年 レスリング世界選手権大会61kg級 世界第1位(優勝)



伊調 馨さん

ALSOK 総合警備レスリング部(63kg級・中京女子大学卒)
2002年~2007年 世界選手権大会5回優勝
2004年 アテネオリンピック金メダル
2006年 アジア大会 優勝
2008年 北京オリンピック金メダル



伊調千春さん

ALSOK 総合警備レスリング部(48kg級・中京女子大学卒)
2003年~2007年 世界選手権大会5回優勝
2004年 アテネオリンピック銀メダル
2006年 アジア大会 優勝
2008年 北京オリンピック銀メダル

特集2

卒業生インタビュー

Part 1



……大志に生きる……

かけがえのない宝もの



沼尾 みゆき

劇団四季俳優 栃木県出身 東京芸術大学音楽学部声楽科卒業

二期会のオペラスタジオを経て、九十八年四季劇場開場記念オーディションに合格し、劇団四季に入団。

今思うと、私が過ごしてきた日々はとても恵まれていたなと思います。生まれたときから家にはピアノがありました。父の歌と母のピアノを聞きなが

ら育った私。気づいたときには私は、ピアノを習っていました。ピアノ、歌、オルガン、リコーダー、そして小さい妹の「プップカブププ」という変な音まで混じり、家の中にはいつも音楽に溢れていました。

家族は、私が弾くピアノの音には耳をふさぐせに、歌だけは素直に聞いてくれました。母は、「なぜ歌だけはそんなにキレイなの？」と不思議そうに言っていました。小さい頃から歌が大好きだった私。譜読みもイタリヤ語の読み方もそれほど苦労しませんでした。私の中に息づく音楽は全て両親のおかげです。

音大に進むため、高校は音楽科のある宇都宮短期大学附属高校を選びました。

主科(声楽)、副科ピアノ、楽典、ソルフェージュ、和声、合唱、これら全てを学校で学べるのは効率的です。それぞれを個人レッスンで学ぶというの

伊調千春さん 親元を離れて京都の高校へ進学し、ひたすら道場通いの毎日。レスリングだけに集中できたのは、両親のお陰です。

伊調 馨さん 姉と同じく親元を離れ、愛知の高校で練習の毎日。学校への送り迎えから練習まで、監督にお世話になりました。

宮崎先生 宇短大附属高校の生徒に、ぜひメッセージをお願いします。

伊調千春さん 宮崎先生のような素晴らしい先生から直接ご指導が受けられる皆さんは、とてもラッキーですね。自分の能力を信じ、自らの夢の実現のために、全力投球すること！皆さんが、それぞれのステージで輝くことを願っています。

伊調 馨さん いろいろなことに興味を抱き、潜在能力を開発できるように挑戦すること！世界ナンバーワンの宮崎先輩に続くトップアスリートの登場に期待します。

宮崎先生 お互い、さらに自らを磨き、がんばりましょう。本日は、お忙しい中、どうもありがとうございます。

は時間的、体力的、経済的にも大変な
ことですから。
音楽科の2クラスは女子がほとんど
でしたが、毎日が大騒ぎの3年間は、本
当に楽しいものでした。「この学年は
素直で、楽しい学年んだけど、勉強
しないのが困ります。」と母は先生か
ら苦言を呈されていたようです(笑)。
それでも放課後にはみんなが自然と集

まって、合唱の練習をするクラスでし
た。これも音楽科の良いところですね。
卒業してから伺ったのですが、先生
方は「あの学年は良い学年だった」と
懐かしそうに語っていたそうです。い
つも怒られてばかりでしたが、ちゃん
と向き合い、私の個性を引き出そうと
して下さった先生方には本当に感謝し
ています。高校時代は私にとって忘れ



劇団四季のミュージカル『ウィキッド』(プリンダ)から
【撮影:上原タカシ】

られない大切な時間です。
その後、東京芸術大学に進みまし
た。在学中は本当に苦労しました。
ソプラノにしては、やや低めの声質
だったので、定期試験の選曲は苦勞の
連続だったんです。ミュージカルとの
出会いはそんな大学生のころでした。
叔父に連れられて見に行ったミュー
ジカル「夢から醒めた夢」。まるで自分
がその舞台に立っているかのような感
覚を受け、衝撃をうけました。
ミュージカルをやりたいと思ったの
はこの頃からでしょうか。大学でクラ
シックを学びつつも、思いはミュージ
カルに向いていました。卒業後も、さ
らに歌唱技術を身につけるべく、二期
会オペラスタジオに進み、オーディ
ションに挑みました。
劇団四季のオーディションに受かっ
たときは人生で一番嬉しい瞬間でし
た。ところが、入団してからはそれは
もう別世界。歌も演技も注意の連続。
ダンスにいたっては初心者だったとい
うこともあり、先輩方が三、四人付
きつきりで猛特訓することもしばし
ば。それでも覚えられます。



劇団四季のミュージカル『ウィキッド』(プリンダ)から
【撮影:荒井 健】

稽古に明け暮れ、緊張と疲勞がピー
クに達したときに舞台上立つことにな
ります。舞台上立つというのはこうい
うことなのかと痛感しました。
ある舞台の稽古中、歌も芝居もなか
なかつかめず、途方に暮れていた時が
ありました。そんな時、ある先輩が私
を呼び、稽古を手伝ってくれたことが
あります。先輩はもう帰れるのにも関
わらず付き合ってくれたのです。その
次の日には別のベテランの方が徹底的

に指導してくださいました。
何度も何度も稽古してくださいとい
るにも関わらず、なかなか進歩しない
自分。悔しくて何度も泣きました。そ
れでも先輩はずっと稽古に付き合っ
てくださいました。「こんなに親身になっ
て付き合ってくれる先輩方のために
も、私がんばらなくてはいけない。
毎日この思いだけがむしゅらに稽古
しました。
朝から晩まで稽古に明け暮れ、よう

やく少しずつですが成果がみえてきま
した。先輩方に「よくやった。じゃあ
今度はこうしてみよう」と言われた時
の嬉しさは忘れられません。
先輩方の指導は開幕してからもずつ
と続きました。なかなか上手くいか
ず、その悔しさから、涙が頬を伝うこ
とも。休演日も劇場に通って稽古を行
い、眠るとき以外は全て芝居に捧げま
した。
そしてついに辿りついた千秋楽。共
演した先輩方から「よくがんばった!
この経験は必ず力になるからね」と言
われました。この時お世話になった先
輩方のことは一生忘れないと思いま
す。厳しくも温かい、そして何よりも
全力で指導してくださいました先輩方のよ
うに私もなれたらと思います。
二〇〇七年にはミュージカル「ウィ
キッド」に参加させて頂くことになり
ました。この舞台は「オズの魔法使い」
に出てくる善い魔女グリンダと悪い魔
女エルファバの友情の物語。「善い」と
は何か、「悪い」とは何かを考えさせら
れる素晴らしい舞台です。二〇〇三年から
タのプロードウェイで二〇〇三年から

始まり、今でも大人気の舞台で、私はオーディションを受けた結果、善い魔女グリンダ役に挑むことになりました。開幕までの一ヶ月間はアメリカから多くのスタッフがやってきて、演出、証明、衣裳の指導を受けました。これまで、『オペラ座の怪人』のクリスティーヌや、『ミュージカル李香蘭』の李香蘭など正当派ヒロインと呼ばれる役を演じてきましたが、グリンダは劇団四季の作品にはみられなかったようなキャラクターで、アメリカではクラスに必ず一人はいるようなキュートで人気者という設定です。わがままですが、心は純粋で憎めないという微妙なニュアンスを出さなければなりません。最初はとうとう演じていいのかわからず、注意を受け続ける毎日。形にとらわれすぎていたんですね。ですが周りの方の助言から『自分の中にあるグリンダを素直に表現すればいい』と気づいたときには涙があふれました。グリンダと自分が一心同体となる感覚を今でも大事にしています。

『ウィキッド』は切ないストーリーりと壮大な曲の数々、華やかな衣裳と舞台装置の細かい所まで見所は数多くあります。私はやはりグリンダのナンバーに惹かれます。初めて『ウィキッド』を知ったのはプロードウェイ版のCDで、素晴らしい曲の数々に感動を覚えました。しかし聴くのと歌うのでは大違い。曲の難易度は、私の想像を超えていました。グリンダのナンバーは、クラシカルな発声とポップス調の発声の両方を必要とする難しい曲で、何度も喉を痛めかけ、克服しという日々を繰り返すうち、喉が強くなったと思います。

健康面には常に心を配っています。もともと身体があまり強いほうではありません。小学生のころは喘息を患っていて、体力もないので学校も休みがちでした。高校に入ってから喘息は治まったのですが、息苦しさを感ずると今でも不安です。とにかく今は風邪をひかないことに最大の注意を払っています。帰ったらまずうがい、手洗い、食欲なくとも食べることに。役者は一人リタイアすれば、周囲の方々に多大な迷惑をおかけしますので、これこそ俳優にとつて最も大事な仕事だと認識しています。

劇団四季に入団して10年が経ちますが、ここまで続けてこれたのも、支えてくれた劇団の先輩方、そして友人たちのおかげです。先輩方には夜遅くまで稽古場に残り、ダンスや歌の指導をしてくださいました。友人とは、食事と共にし、芝居のこと、自分の夢を語り明かしたこともありました。劇団内の方だけではありません。地元の人や家族の支えがあつてこそ、ここまで続けてこれたのだと思います。『自分さえ強ければ生きていける』、『周りはライバルだ』と思っていた時期もありましたが、それは決して違う。周りの方に助けられ、今の私がいる。仲間がいるから成長できる。今は、本当に感謝しています。

一つのことを一緒にやって作り上げる、かけがえのない『仲間たち』。これが私の大切な、大切な宝ものです。

★この文章は、『下野教育』特集「大志に生きる」No.729(栃木県連合教育会、平成二十年十二月十日発行)に掲載されたものを再録しました。

特集3

卒業生インタビュー

Part 2

厚生労働省に入省して



宇都宮共和大学第6期卒業生
望月 賢
(宇都宮短期大学附属高等学校出身)

当初の志望動機の原点に戻る
昨年三月に本学を卒業して厚生労働省に入省しました。大学では、厚生労働行政とは直接つながりのない財政学のゼミに所属しておりました。就職活動の時、私は財務省か厚生労働省かで悩みました。ゼミの先生に相談の電話

をしたところ、突然の電話にもかかわらず忙しい中、応対してくださいました。先生は「ゼミの学生が財務省に入省したら、私としては鼻が高い。でも、望月君に合うのは厚生労働省だと思ふ。」とアドバイスしてくださいました。宇都宮共和大学の先生は、このように学生一人ひとりの個性を良く見て、それを伸ばし、未来へと繋げてくださいます。また、財政はどんな行政にも関連するものなので、厚生労働省で仕事をすることでも、大学のゼミで学んだことはとても役に立っています。これから就職される後輩に伝えたいことがあります。当初の志望動機は是非忘れないで覚えておいて下さい。私は現在、社会人となって一年近くになりますが、実際に業務に携わると入省前の公務員に対する「イメージとは乖離しており、「激務」という言葉がよく似合う職場でした。また、既に何度も仕事で失敗しました。その場から逃げ

だしたくなることもありましたが。しかし、辞めようとは思いません。なぜなら、私は原点に戻るからです。なぜこの仕事に就いたのか、それを思い出せば辛いことも案外、乗り越えられます。就職するときの志望動機は、就職するためではなく、就職後

に仕事をするためにあるものだと私は考えます。多くの先輩が宇都宮共和国から社会に大きく羽ばたくことを切望いたします。また、私の経験を少しでも皆さんの参考にさせていただいたら幸いです。

栃木県警察官採用試験合格！



宇都宮共和国大学4年生
柏崎 竜 弥
(宇都宮短期大学附属高等学校出身)

社会へ飛び立つための鍵を大学で
待望の栃木県警察官の内定を獲得す

ることができました。大学入学当時は、難関の公務員試験に向けて不安がつるばかりでしたが、宇都宮共和国大学では一年次から公務員試験対策講座が開講されており、また少人数制のチューターやゼミで個別に的確な指導を受けられたため、周到に計画を立て、万全の体制で試験に臨むことができました。

就職活動は、民間企業も受験しました。就職支援担当の先生や就職ガイダンスなどの充実したサポートの中で、複数の企業の内定を獲得することもできました。就職活動を通じて、「自分自身を深く知ることが内定を獲得する鍵である」と感じました。将来何がした

いのか、何をするができるのかをしっかりと大学生活で発見し、それを社会でどうやって実現させていくのかを考えることが重要だと思います。

大学生活では、「まちなかゼミ」による深い専門分野の修得や成績優秀者に送られる須賀スカラシップ(奨学金)、資格取得のための講座開講(教職免許、簿記、情報、語学、不動産、販売士等)など、学生を刺激してくれる制度が数多くあり、日々チャレンジし続けて充実した大学生活を送ることができました。

また、大学祭、スポーツ大会や研修旅行など楽しいキャンパスライフも印象に残っています。

宇都宮共和国大学には、自分探しや挑戦したいことを温かく支えてくれる環境があります。これから社会へ羽ばたく後輩の皆さん、自分自身を見つめ、自分を知ってください。そこから全てが始まります。

これからは今までの学識、経験を生かし、警察官としてまちの課題解決に全力を注ぎ、安全安心な市民生活の実現を目指したいと思います。

特集4 卒業生インタビュー

Part 3



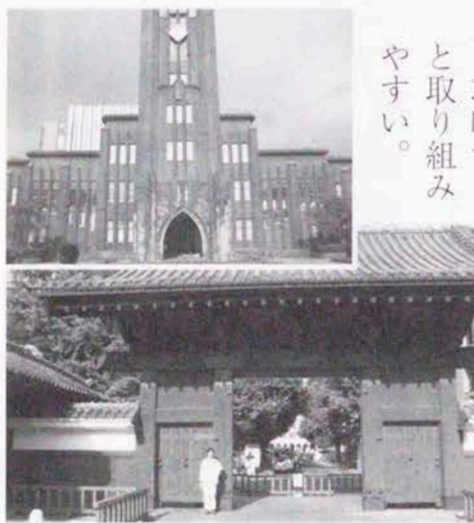
一流難関大学にみごと現役合格を果たした普通科特進コース卒業の先輩方にお聞きしました。(一问一答方式)



飯島和之さん
東京大学
理科一類・1年

《平成二十年三月卒業》

①大学での学生生活は？
・一般教養科目は、駒場キャンパスで受講。
・専門分野を学ぶ本郷キャンパスでは、機械工学の「倒立振り子(とうりつしんし)を研究中。
・東京大学混声合唱団コール・ユリゼンで活躍中。大学祭では、安田講堂で猛練習の成果を披露。



▲東大のシンボル安田講堂(上)と赤門(下)

②将来の目標は？
・東京大学大学院工学研究科へ進学して、ロボットの制御に関する機械情報分野か、パソコンのソフトウェア開発の電子情報分野の研究をしたい。
③本校生へのメッセージを！
・「不撓(ぶたう)不屈」
・志を常に高く持って、何事にも諦めずに取り組むことが大切。
・集中できるときには、まず得意科目を連続して行った後に、不得意科目を攻略すると取り組みやすい。



石井匠太郎さん
一橋大学
法学部法律学科・3年

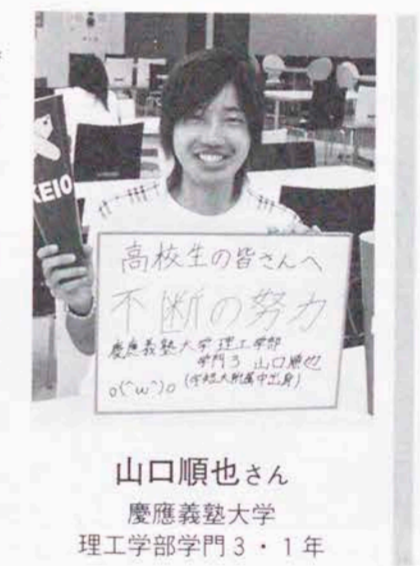
《平成十八年三月卒業》

①大学での専攻内容とサークルは？
・民法が専門で、特に「不法行為の損害賠償」について興味あり。
・ヴァイオリン(一橋大学管弦楽団のコンサートマスター)は、小二(八歳)から。ハイドン、ベートーヴェン、モーツァルトなどの古典派が得意。
②将来の夢は？
・法曹界の弁護士を目指す。
・二〇一〇年度に早稲田大学の法科大学院に進学し、二〇一二年度に国家試験を突破。その後、一般の法律関連事務所キャリアを積み、自宅の法律事務所(宇都宮市内・曾祖父から四代目)を継ぐのが目標。
③高校時代の勉強法は？

・「初志貫徹」
 ・平素の授業がすべての基本。
 ・定期テストを大切に、復習をまずしっかり行うことが肝要。
 ・受験期になっても、受験科目以外の勉強は、大学へ入ってから「頭の訓練」だと思って、決して手を抜かないこと。



◀ 附属図書館前で
 ▶ 兼松講堂



《平成二十年三月卒業》

山口順也さん
 慶應義塾大学
 理工学部学門3・1年

- ① 大学での学生生活は？
 ・専攻している学門3は、主として化学系。今は、シミュレーションガットの波動方程式や電子スピン等、高校化学の発展的内容を学ぶ。
 ・アーチェリー部に所属。小さいころからの憧れで、七月の大会では、男子団体で全国第十一位の成績。
- ② 将来の目標は？
 ・慶應義塾大学の大学院（応用化学の生物専攻）でバイオテクノロジー、特に、植物の品種改良に関する研究を行いたい。
- ③ 受験生へのアドバイスは？
 ・「不断の努力」
 ・一つの教科の連続学習ではなく、三

十、六十分ごと（得意・不得意や、教科の特性、単元などによる）に、教科を変えながら十、十二サイクルを連続して行うという学習法が、集中力をアップさせるのにはベスト！
 ・今学習している内容を、必ず視覚と聴覚を使いながら、つまり文章や数式を声に出しながら解答していくこと「脳トレ」が効果的。



★このインタビュー記事は、学校新聞「若鮎」第三十三号に掲載されたものを再録しました。

生徒会活動のさらなる発展を目指して

—— 新生徒会長に就任して ——



私は、この度、平成二十一年度の生徒会長に選任されました早乙女敏です。まずはじめに、選挙活動を応援してくださいました先生方や級友、投票してくださいました生徒の皆さまお一人お一人に、厚くお礼申し上げます。

私は、昨年度、生徒会副会長として活動を続けてまいりました。当時はまだ未熟で、先輩方に頼ってばかりでしたが、活動に慣れていくにつれ、生徒代表としての自覚を持ち進んでいかなければならない、と決意を新たにすることができるようになりました。この決意のきっかけをつくってくださった諸先輩方への感謝の気持ちを忘れず、そして先輩方が築いてこられた伝統を引き継いで、生徒の皆さまと一緒に、さらにすばらしい学校にしていきたいと思っております。

そこで、昨年の立候補者立演説会の時に私が掲げた「ボランティア活動」を通じて、その目標を実現してまいりたいと考えています。生徒会では皆さまから多種多様な物品を募集し、それを途上国に届けるという「世界の笑顔のために」プログラムを実施していましたが、そのほかにも、地域のゴミ拾いに参加してみたり、自分の趣味や好きなことを活かしたボランティア活動をしたり、忙しいときは募金などの活動をしたりと、まだまだ数えきれないほどの方法があるので、皆さまも是非参加してみることをお奨めします。ボランティア活動はどれも面倒なことばかりであると思われがちですが、皆さま一人一人が小さなことでも行動を起こしてくだされば、

新生徒会長
 早乙女 敏

学園告知板

フェスタ2008
須賀学園創立108周年記念学校祭
を開催!



学園創立一〇八周年を記念した中学・高校合同の学校祭フェスタ2008が、昨年の十一月一日(土)に開催され、二〇〇名をこえる中高生や一般のお客様をお迎えして盛大に行われました。

まず、第1会場の須賀学園教育会館では、3Fの各セミナー室を一般公開しての「宇都宮短期大学人間福祉学科幼児福祉公開講座」や各学科・部活動の展示と行事紹介、2Fグループ学習室での第二回入試説明会(オープンキャンパス)、1F生徒ホールでの調理科レストラン、そして前庭特設ス

テージでの各種野外コンサートや、東京ガスの天然ガス自動車展示。第2グラウンドでは、各種模擬店と屋台村での軽食販売、サッカー部のミニフットサル大会などが盛大に行われました。

また、第2会場となった須賀栄子記念講堂大ホールでは、生活栄養科のファッションショーや音楽科のオペレッタ、演劇部の創作演劇、プラスバンド部演奏などと、同小ホールでの英語スピーチ、音楽科ミニコンサート、校内合唱コンクール上位入賞クラスによる発表等、見所が盛りだくさんの思い出に残る楽しい秋の一日になりました。



今、新たなチャレンジの時 第42回宇短大祭が華やかに!

第四十二回目を迎えた宇都宮短期大学音楽科と人間福祉学科の大学祭が、昨年の十一月十五日(土)と十六日(日)の二日間にわたり盛大に開催されました。

須賀友正記念ホールで行われた特別企画「青島広志おしゃべりコンサート」や「舞台音楽四〇八年史」では、TV「世界一受けたい授業」や「題名のない音楽会」「天才たけしのだれでもピカソ!!」などでお馴染みのマルチ音楽家・青島広志先生(テノール歌手の小野勉さんが共演)が、ピアノと歌で抱腹絶倒の爆笑トークをまじえて、ためになる楽しい音楽知識をご伝授!

また、宇短大開学四十周年記念多目的アリーナでは、SQCスウェーデン・クオリティケア所長(前スウェーデン福祉研究所長)のヨアキム・カウト先生による「スウェーデンの福祉事情」と題する公開講座が開催されました。

宇都宮共和大学の宇都宮シテイキャンパスで
教育ルネサンス
「英語と文化の公開講座」を開講!
教科書にのっていない世界の授業2008
英語教育公開講座



▲スタッフと談笑する本校の参加者

昨年八月七日(木)の午前十時三十分から、本校の系列校である宇都宮共和大学の宇都宮シテイキャンパスを会場に、読売新聞東京本社・神田外語グループ主催、宇都宮共和大学協力によ

そのほか、附属高校音楽科の学内演奏会・生活栄養科のファッションショーをはじめ、楽しいピアノ・電子オルガンのレッスン体験やシニア体験等の音楽や福祉に関連する各種体験授業、音楽療法ワークショップ、さらには音楽科教職員・学生による本格的なウエルカム・ピアノコンサートやフルート、ブラスバンドの演奏など、数多くのイベントが盛りだくさんの、晩秋をいりどる稔り多い祭典になりました。

県環境森林政策課・主催 「どちぎ」発ストップ温暖化アクション で最優秀賞に!

このたび、栃木県環境森林政策課・地球温暖化対策室の主催で、「どちぎ」発ストップ温暖化アクション「プランがスタート!」本校は、「ストップ温暖化宣言スクール」として、「アクション1」CO₂ひとり一日1kgダイエット」と、「アクション3」めざせ入賞!とちぎストップ温暖化アクションコンテスト」に参加することになりました。

る教育ルネサンス「英語と文化の公開講座」が開講され、「世界を知りつくしたスペシャリストがおくる、夢の授業」を多くの一般聴講者が受講しました。

まず、中学生対象の「教科書にのっていない世界の授業2008」では、さまざまな外国語講座や世界のオモシロ異文化講座などが、ネイティブスピーカーや各講座の先生方・先輩たちとのランチタイム(タイの民族舞踊のご披露あり)をはさんで午前と午後それぞれ2レッスンずつ! 最終レッスン後のイングリッシュ・ラウンジでは、世界のスイーツとドリンクを片手に、各国出身の先生方や宇都宮共和大学教授の駒場利男先生らとフリーカンパセーションを楽しむことができました。

一方、英語科の先生方や英語教育関係者、英語・英語教育に関心のある方々に向けては、宇都宮共和大学名誉教授の大関篤英先生の講義を含む「英語教育公開講座」が計三講。楽しくためになる実践的なセミナーに、真剣に取り組むことができました。

これは、平成二十年から具体的な運動期間が始まる京都議定書に対応して、本県でも「県民総ぐるみによる、身近な省資源・省エネルギーの実践といたった地球温暖化対策の取り組み」を実施しようとの趣旨から、広く県民・事業者・学校に呼びかけられたものです。

本校では、平成十七年度の最優秀賞受賞に引き続き、昨年度は第三位に入賞。今年度も、①エアコンの設定温度は、室温28℃にする。②必要のない場所の電気は、こまめに消灯する。③必要のない電気器具のコンセントを抜く。④生徒は、ポロシャツスタイルの夏季制服を正しく着こなし、クールビズを実践する。⑤水の無駄遣いをしない。⑥先生方は、使用しないときのノートパソコンの画面をとして、スタンバイ状態にする。の計六項目にわたる達成目標を掲げてアクションプランをスタート！全職員・生徒の皆さんが一体となった「宇短附の省エネチャレンジ大作戦」の努力の結果が実り、みごと県No.1の最優秀賞を受賞することができました。

男子ソフトテニス部の活躍

昨年の四月五日(土)に行われた第三十七回ハイスクール・ジャパンカップソフトテニス2008栃木県代表選考大会におきまして、調理科三年・渋谷冠くん(宇都宮市立若松原中学校出身)と情報商業科二年・吉永湧紀くん(芳賀町立芳賀中学校出身)のペアが、みごと優勝！六月十九日(木)から北海道で開催された全国大会の、本校男子ソフトテニス部としては三年連続六回目となる栃木県代表選手枠【推薦】を獲得することができました。

関東大会のソフトテニス男子個人で石川涼太・渋谷冠くんが初優勝！

昨年の五月三十日(金)に群馬県前橋市の群馬県総合スポーツセンターで行われた関東高等学校体育連盟・群馬県教育委員会主催・平成二十年関東高等学校ソフトテニス大会の男子個人におきまして、本校から計五ペアが出場

した中で、結成して一ヶ月あまりの情報商業科三年・石川涼太くん(芳賀町立芳賀中学校出身)と調理科三年・渋谷冠くん(宇都宮市立若松原中学校出身)のペアが、強豪・神奈川県立伊勢原高等学校チームを4-0で完封！栃木県勢としては実に十七年ぶり、本校の男子ソフトテニス部としては、創部以来初の優勝の栄冠を獲得することができました。

インターハイ、全国大会へ！ソフトテニス男子団体で優勝・個人は第3位！

昨年の六月七日(土)から九日(月)にかけて栃木市総合運動公園テニスコートで行われた平成二十年第五十三回全国高等学校総合体育大会(インターハイ)栃木予選会におきまして、本校のソフトテニス男子団体(4ペア)と個人(2ペア)が、三年連続六回目的全国大会出場という栄冠を獲得することができました。

次々に下し、昨年に引き続き、みごと団体全国第五位の栄冠を獲得することができました。

「チャレンジ！おおいた国体」の県代表選手にソフトテニス少年男子

昨年、大分県で開催される第六十三回国民体育大会(主催・日本体育協会、通称「チャレンジ！おおいた国体」)に出場する栃木県チーム代表選手に、八月十五日(金)から十七日(日)にかけて山梨県の石和市で行われた関東ブロック選手権を勝ち抜いた本校の男子ソフトテニス部の選手四名(ソフトテニス少年男子の部)で出場。監督は本校の顧問の成田純先生)が決定しました。代表メンバーは、五月の関東大会初優勝の実績を誇る情報商業科三年・石川涼太くん(芳賀町立芳賀中学校出身)と調理科三年・渋谷冠くん(宇都宮市立若松原中学校出身)のペア、そして情報商業科二年・吉永湧紀くん(芳賀町立芳賀中学校出身)と普通科

進学コース三年・朝日悠輔くん(壬生町立南大飼中学校出身)です。

県立真岡高校と那須清峰高校の四名を加えた計八名の混成チームで、九月二十八日(日)から大分スポーツ公園テニスコートで開催された本戦に挑んだ結果、第一回戦・新潟県チームと第二回戦・大阪府チームにともに快勝！準々決勝戦で宮城県チームに惜敗するも、三位決定戦で石川県チームに競り勝ち、みごと全国第三位の栄冠を勝ち取ることができました。



▲「チャレンジおおいた国体」で団体第3位(大分スポーツ公園テニスコート)

は、黒磯(準々決勝)・鹿沼(準決勝)・真岡(決勝)の県立強豪勢を次々と制して総合優勝！また男子個人では、五月の関東大会初優勝の実績を誇る情報商業科三年・石川涼太くん(芳賀町立芳賀中学校出身)と調理科三年・渋谷冠くん(宇都宮市立若松原中学校出身)のペア、そして情報商業科二年・吉永湧紀くん(芳賀町立芳賀中学校出身)と普通科進学コース三年・朝日悠輔くん(壬生町立南大飼中学校出身)のペアが、ともに第三位に入賞！

男子団体の情報商業科三年・宇梶研太くん(主将・日光市立今市中学校出身)と調理科三年・大島敦史くん(宇都宮市立陽南中学校出身)のペア、普通科進学コース二年・飯野純吾くん(宇都宮市立豊郷中学校)と情報商業科二年・島村直希くん(下野市立南河内中学校出身)のペアを含む最強メンバーで、八月一日(金)の開会式をかわきりに、埼玉県川口市の青木町公園総合運動場庭球場で戦いに挑んだ結果、本校チームは1回戦シード、2回戦滋賀県代表・甲西高校、3回戦青森県代表の強豪・八戸工業大学附属第一高校を

【国際交流】

「ニュージーランドのサンタマリアカレッジから、学生訪問団が授業体験に来校！」

これから初秋を迎える南半球ニュージーランドはマスカウ市（宇都宮市の姉妹都市）のサンタ・マリア・カレッジからの高校生十二名と引率の先生方が、昨年四月の十八日（金）から二十四日（木）までの一週間にわたり宇都宮市に滞在し、両国の新たな友好関係がスタートしました。これは、姉妹都市交流事業の一環として宇都宮市国際交流協会が主催するもので、市内滞在四日目の四月二十一日（月）に本校へ来訪！

地歴・公民や数学、英語などの普通授業への参加のほか、茶道や着付け教室といった日本の伝統文化体験、ステンドグラスのデザイン講座など、中学・高校の実際の日常生活を体験いただきました。

また、日程後半では、世界文化遺産の日光東照宮や華厳の滝、東武ワールドスクエアの見学や、東京デイズニ

ランド、東京、広島・安芸の宮島、京都方面への観光旅行に参加され、初夏の訪れも感じられる日本で、楽しく有意義な思い出をたくさんつくっていただきました。

アメリカ・カリフォルニア州からの高校生が、一ヶ月間の高校体験学習！

宇都宮市国際交流協会のお招きで来日された、アメリカ・カリフォルニア州在住の男子高校生、Hans Hikaru Davidson（日本名：横山 光 君）（十五歳）が、昨年六月二十五日（水）から七月二十日（日）までの約一ヶ月間にわたり、本校での体験学習を行いました。小学校三年生のときに渡米し、現在高校九年生になる横山君は、宇都宮市内にあるお母様のご実家に滞在しながらの本校通学！ 昨年も宇都宮市内の老人福祉施設でボランティア活動に参加された経験があり、今回の帰省では、高校の夏休み休暇を利用して日本の高校生活を実験したいということでしたが、普通科国公立特進コース一

中国浙江省から、高校生交流代表団が来校！

夏休みに入って間もない昨年七月二十二日（火）、栃木県とは友好関係にある中国・浙江省からの高校生交流代表団の皆さまが来校し、日中両国の新たな友好関係がスタートしました。これは、栃木県産業労働観光部国際課のご依頼によるもので、代表団のメンバーは、中高一貫校である源清中学校からの先生方五名と高校一・二年生二十七名、そして浙江省人民対外友好協会からの通訳一名と浙江省中国旅行社から添乗員一名という、計三十四名の訪日団の皆さまです。

で、楽しく有意義な思い出をたくさんつくっていただきました。

【調理科の活躍】

本校調理科が、「けんちょう愛ふれあい直売所」を栃木県庁内にOPEN！

昨年の七月から毎月一回（十八日の「とちぎ地産地消の日」）、栃木県・とちぎ地産地消民運動実行委員会の共催で、県庁内に農産物直売所（愛称：「けんちょう愛ふれあい直売所」）が開設され、毎月このメインテーマにより季節感を演出しながら、県産の農産物やこれを活用した加工食品の販売を通じて、栃木県農産物の消費拡大と県のイメージアップをはかる事業が実施されることになりました。本校では、調理科、生活栄養科、情報商業科それぞれが学習成果の発表の場として、七月十八日（金）午前十時から栃木県庁舎1F県民ロビーで、調理科生徒が考案したレシピによる地産地消のパンの販

台湾国立屏東女子高校から、交流団が来校！

秋色もすっかり深まった昨年十一月十四日（金）に、台湾は国立屏東女子高校（国立屏東女子高級中學）からの高校生交流団の皆さまが来校し、友好関係を深めました。

代表団のメンバーは、林秀琴校長先生以下先生方三名と高校一・三年の生徒の皆さん三十二名をはじめとする計四十名の訪日団の皆さまです。当日は、両校の記念品交換・学校紹介から始まり、須賀栄子記念講堂での音楽交流（本校音楽科一年生の演奏）、披露と屏東女子高校の伝統芸能：「喜びの正月」舞踊の鑑賞、や茶道の体験学習、須賀学園教育会館の施設見学や

「ニュージーランド・マスカウ市からの派遣高校生が来校！」

夏真っ盛りという南半球ニュージーランドはマスカウ市からの派遣高校生三名が、昨年末の十二月十五日（月）から年明けの一月二十二日（木）までの三十八日間にわたり、本校生として生活されました。これは、宇都宮市国際交流協会の主催により姉妹都市交流事業の一環として毎年行われているもので、今回来校されたのは、二〇〇六年九月に引き続き第二回目となるセント・ケンティンガン・カレッジと、本校へは初めてとなるポタニー・ダウンズ・カレッジからの女子生徒の皆さんです。宇都宮市長表敬訪問をかわきりに、高校の普通授業への参加、染織や和食料理の体験学習のほか、世界文化遺産「日光や東京デイズ・ニュージーランドの見学、宇都宮市冒険活動センターでの英会話体験キャンプなど、新春の宇都宮

売を行いました。

七月の商品は、メインテーマ「高原の風」をイメージした「宇短附とちぎ元気ブレッド」!

「那須高原・ロイヤルブルーベリーク ロワッサン」と「那須高原・ミルクパン」、「宇都宮産さつまいも入りパン」 キンパン」の計三種類です。パンの製造は、本校調理科の卒業生(第二期)である平出正光先生のペーカリーショップ「ブチトマト」(製造許可施設)が担当しました。生活教養科の生徒は、「宮 染めの浴衣」を着用しての販売促進 (試食品の配布等)を、また、情報商業 科の生徒は、レシビ紹介のパネルを作 成して県庁ロビーに展示いたしました。

続く十二月の商品は、本校調理科生 徒の皆さんと音羽和紀シェフ(本校特 別講師)で考案したレシビ(栃木県産 小麦粉を使用した地産地消の商品)に よるクリスマス・ガトーで、調理科第 二十九期卒業生であるOlowa restaurant 副料理長の音羽 元先生のご指導をい ただきながら、オーベルジュで製造し たものです。

また、同ロビーでは午後十二時十五 分から、生活教養科の二・三年生五十 名の皆さんによるファッションショール と、情報商業科の生徒による販促キヤ ンペーンも行われました。 皆さまもぜひ一度ご来店のうえ、ご 賞味下さい。

第21回きのこ料理コンクールで 最優秀賞、全国大会へ!

昨年十月十七日(金)午前十一時から テブコ・ラ・フォンテのクッキングスタ ジオで行われた「第二十一回きのこ 料理コンクール」(栃木県環境森林部 林業振興課・主催)本審査の一般部 (高校生以上)におきまして、調理科二 年の荻野成美さん(日光市立大沢中学 校出身)が「きのこバーグと焼きトマ トのミルフィーユ」で最優秀賞を受 賞!今年三月に東京の服部栄養専門 学校で開催される全国大会への出場権 を獲得しました。栃木県産の食用きの こを使った新しいアイデアメニュー に、ぜひご注目ください。

【生活教養科の活躍】

「創作料理発表会」で、 生活教養科3年生が最優秀賞を受賞、 全国大会に!

昨年末の十二月二日(火)に宇都宮市 総合コミュニティセンターで行われた 平成二十年度「創作料理発表会」(通称 「ファミリミートクッキングコンテス ト」)栃木県大会(主催:栃木県食肉事 業協同組合連合会)で、生活教養科三 年の中村桃子さん(宇都宮市立豊郷中 学校出身)が、みごと第一位・最優秀 賞の栄冠を獲得し、今年二月七日(土) に東京で開催された全国大会にも挑み ました。

中村さんの入賞作品の「春雨ふりぶ りライスバーガー」は、春雨を入れた ぶりふりでジューシーな食感が楽しい ハンバーグに、ライスとの相性が良い 照り焼きソースをからめて、トマトと いっしょに栃木のおいしいコシヒカリ ではさんだオリジナル作品!ホ リュームたっぷり栄養バランスも最

高の、ヘルシーでおいしくいただける 一品です。

「地産地消」と「食育」にも配慮し、 新鮮で安全な栃木県産品と国産食肉を 使った新しい感覚のアイデア料理 に、皆さまもぜひ挑戦してみてくださいか?

とちぎテレビ「うたの王様」 司会アシスタントの衣裳を、 生活教養科でデザイン・制作!



このたび、とちぎテレビからのご依 頼を受け、現在同局で放映中の大人気 カラオケ番組「うたの王様」で司会ア シスタントが着るステージ衣裳を、本 校生活教養科がデザイン・制作!と てもキュートなバルンドレスができ 上がりました。 制作を担当したのは、生活教養科三 年の山崎夏実さん(矢板市立矢板中学 校出身・写真左)と古内友理さん(宇都 宮市立陽南中学校出身・写真右)!ま た、司会者・甚の介さんのアシスタン トをつとめるのは、本校普通科進学 コースを平成十八年三月に卒業後、 現在女子栄養大学三年に在学中の片山 結衣さん(宇都宮市立姿川中学校出 身)です。ブルーが似合う片山さんに 合わせ、青色を基調とした涼しげなデ ザインに仕上がりましたが、ドレスの 裾のふんわり感を出すのに苦労したそ うです。

全国きものデザインコンクールで、 生活教養科3年生が2年連続全国第2位、 京都府知事賞に!

昨年七月に京都府の京都芸術セン ターで開催された第十二回全国きもの デザインコンクール(主催:全国染織 連合会・きものデザインコンクール開 催委員会、後援:経済産業省ほか)の 全国大会・ジュニアの部において、生 活教養科三年の斎藤恵美さん(鹿沼市 立北押原中学校出身)が、みごと全国 第二位・京都府知事賞の栄冠に輝きま した。 型友禱で伝統的な着物を大量生産す るために行われる一般的な公募デザイ ンコンテストではなく、自分が着たい 着物を自分の趣向・感性・色彩表現で デザインするというこのコンテストに は、今回全国から一四四一点の作品が 出展されましたが、本校生徒の作品 は、昨年度に続く二年連続全国第二位 の京都府知事賞入賞のほか、佳作が三 点、入選は四点という快挙!とくに 昨年十月十八日(土)に、京都の元離宮・ 二条城の二の丸御殿御台所にて表彰さ れた斎藤さんの作品は、「森の中にあ る湖と、その周りにある林」という幻想 的な景色をCGでデザインしたもので す。本誌の表紙を、どうぞご覧下さい。

編集 後記



二〇〇九年(平成二十一年)というこの年に、伝統ある生徒会誌『ひめまつ』第六十三号を皆さまにお届けできることを、私たち編集委員一同、心より嬉しく思っております。まず、巻頭の須賀淳校長先生の随想と須賀英之副校長先生の論説からは、長い歴史と伝統をもつ私たちの学園が、新しい時代の到来とともに今後なお一層充実発展し、目覚ましい躍進を続けていくであろうことが、先生方の感慨や熱意とともに感じ取れるはずです。

そして、巻頭グラフでは、昨秋行われた中・高合同での秋季大運動会のようなすそ、また特集記事では、須賀学園創立一〇八周年記念学校祭・フェスタ2008のよう、運動部の活躍のようすを中心にお伝えできたいと思います。附属中コーナー、宇都宮共和大学・宇都宮短期大学(人間福祉学科)コーナーの他にも読書感想文やHR紹介等読み応えのある作品が多く、皆さまからお寄せいただいた写真やイラストも大いに誌面を飾ってくださいました。

私たちが携ったこの『ひめまつ』は、戦後間もない一九四七年(昭和二十二年)三月に創刊されました。(創刊号の写

真が中扉にあります。)その長い歴史と伝統を踏まえ、さらに本学園の「語り部」として、百年、二百年の礎になるのかと思つと、多くの皆さまにぜひ隅から隅まで読んでいただき、一世紀余かわらぬ本学園の「全人教育」の今日の姿を共有したい、という心持がより強く湧いてまいります。最後になりましたが、一年間にわたり懇切なご指導をいただきました編集委員会顧問の柳 清和・水沼智恵・鈴木順也の各先生方に、心からお礼申し上げます。(編集委員長・佐藤愛里) ありがとうございます。

「ひめまつ」第六十三号 (非売品)

平成二十一年三月二日 印刷・発行

宇都宮短期大学附属高等学校

編集委員会顧問

柳 清和

発行所 生徒会長 早乙女 敏

印刷所 宇都宮市鶴田町一三五九の一

ヤマゼンコミュニケーションズ株式会社

〇二八(六四八)一一一

印刷者 山本 征一郎

発行所 宇都宮短期大学附属高等学校生徒会

栃本県宇都宮市睦町一番三十五号

〒320-8585

TEL 〇二八(六三四)四一六一・三番

FAX 〇二八(六三五)三五五〇

ホームページ <http://www.uant-jh.edu.jp>

メールアドレス info@uant-jh.edu.jp

◆◆ 校史と校章 ◆◆

須賀学園は、昨年11月3日で創立108周年の記念日を迎えましたが、平成19年の11月には、宇都宮短期大学の開学40周年を記念した式典や演奏会、短大祭が開催され、グランドオープンして4年目となる須賀学園教育会館・第2グランドとともに、本学園の教育実践の全容を広く内外に示すことになりました。

思えば、本学園は、明治33年(1900年)に須賀栄子先生によって創立されました。栄子先生は、女子に最も喫緊な技芸を教授され、その時代と境遇に順応すべき実践的婦人の養成を本学教育の趣旨となし、共和裁縫教習所から明治34年共和裁縫女学校、大正13年宇都宮須賀女学校、昭和7年宇都宮女子高等職業学校と校名を改め、学校を発展させてゆかれました。その後を第2代校長の須賀友正先生が受け継がれ、昭和21年須賀高等女学校、同23年学制改革により宇都宮須賀高等学校と校名変更をし、さらに同42年宇都宮短期大学(音楽科)を新設し、現在の宇都宮短期大学附属高等学校と改名されました。

その友正先生の後を引き継がれたのが、第3代現校長の須賀淳先生です。先生は、昭和58年宇都宮短期大学附属中学校(中・高6か年一貫教育)を併設され、那須大学開学、短大の学科増設、須賀学園教育会館および第2グランドの新設と、ますます学園を発展させ現在に至っています。

本校の生活目標である「一人は一校を代表する」という言葉の意味は、本校生徒の一人一人が、それぞれに自らの価値を知り、その価値を自覚して生活することこそ人間の大きな喜びにつながり、幸福への第一歩にもなるというものです。ここには、創立者須賀栄子先生が掲げられた「全人教育」の精神が、100余年変わらずに脈々と生きついでています。

また、現在に至るまで、本校にはいくつかの校章がありましたが、現在の校章(裏表紙を参照)は、カタカナの「ス」の文字を3個組み合わせる図案化した須賀家の合印で、その中央に「高」の文字が挿入されています。(合印とは、いわば目印のようなもので、昔戦場で敵味方が入り乱れて戦うとき、その腕につけさせ、敵か味方かが見分けられるようにしたものです。)これは、須賀家の家系譜から第2代校長須賀友正先生が校章と定めたもので、文字は金色、生地は純白色ですっきりとしており、いかにも清純な感じのする校章です。現校旗と同じ、昭和34年11月3日に、創立60周年記念事業の一環として制定されました。

★表紙のCGデザイン画は、生活教養科3年生の齋藤恵美さんの作品です。詳しい解説は、本誌「学園告知板」p.151をご覧ください。



「第12回全国きものデザインコンクール」全国大会・ジュニアの部で、
全国第2位・京都府知事賞を受賞した作品
《宇都宮短期大学附属高等学校生活教養科3年生齋藤恵美さんのデザイン》